

ふるさと財団「地域再生マネージャー」情報

1. 基本情報						
組織名・所属		公益財団法人日本交通公社				
役職		地域戦略室長／上席主任研究員				
氏名		守屋 邦彦	ふりがな もりや くにひこ	生年	1973年	
連絡先	住所	〒107-0062 東京都港区南青山2-7-29				
	電話	03-5770-8427	携帯電話		メールアドレス	moriya■jtb.or.jp(■を@に変えて下さい)
2. 経歴・取組内容、取組分野						
主な経歴・受賞歴	<p><経歴></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆1999年 東京工業大学大学院情報理工学研究科修了(情報環境学専攻) ◆1999年 株式会社三菱総合研究所入社 ◆2006年 財団法人(現、公益財団法人)日本交通公社入社、現在に至る (2012年6月～2014年3月 株式会社JTB総合研究所に出向) <p><資格等></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆技術士(建設部門:都市及び地方計画) ◆総務省 地域力創造アドバイザー(地域人材ネット登録) ◆ふるさと財団 地域再生マネージャー 					
	主な取組内容、実績等	<p><調査研究事業実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆SDGsを原動力とした持続可能なまちづくり推進業務(2019～2020年度:沖縄県恩納村) ◆道の駅から発信するオリジナルブランド創出による地域活性化推進業務(2018～19年度:神奈川県茅ヶ崎市) ◆観光振興計画・観光地マスタープラン作成、進捗管理業務(2018～2020年度:北海道俱知安町) ◆花巻・観光まちづくり検討支援／観光振興ビジョン策定業務(2018～2019年度:花巻観光協会) <p><講演等実績></p> <p>(講演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ワーケーションの現状と可能性(2020年11月:奥飛驒温泉郷 平湯温泉) ◆日本の観光政策の現状・課題と今後(2020年2月:JTB労働組合連合会) <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆胎内市観光活性化推進委員会 委員(2019年度～現在:新潟県胎内市) ◆第10、11、12回大学コンソーシアムハ王子学生発表会 観光セッション審査員(2018～2020年:大学コンソーシアムハ王子) ◆滝観洞施設整備検討のためのアドバイザリー会議 検討委員(2020年度:(一社)邑サポート/岩手県住田町) 				
取組分野		<input checked="" type="radio"/>	1	観光振興	7	住民参加・協働
		2	産業振興	8	イベント交流	
		3	過疎地域・限界集落の振興	9	食品流通	
		4	中心市街地活性化	10	環境	
	<input type="radio"/>	5	まちづくり景観	11	NPO・ボランティア	
	<input type="radio"/>	6	農林水産品の開発・ブランド化	12	その他()	
3. 関連ホームページ						
名称			アドレス			
公益財団法人日本交通公社			http://www.itb.or.jp/			

4. ふるさと財団での実績

外活部専門成家	◆2010年度～11年度 新潟県胎内市「胎内市米粉を軸にした地域食材活用による観光まちづくり」 ◆2007年度～08年度 北海道釧路市「合併効果を活かした観光まちづくり推進事業」
外部短期専門診断派遣	◆2012年度 栃木県那須塩原市 ◆2010年度 岐阜県本巣市
地域ミ再生ナ生リ	
その他	

5. 財団報告書

名称	アドレス
平成24年度 地域共創ビジネス支援事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/1-H24-shinchii-houkokusyo.pdf
平成23年度 地域共創ビジネス支援事業	https://www.furusato-zaidan.or.jp/3-H23-shinchii-kisaiseiM-houkokusho.pdf
平成22年度 地域共創ビジネス支援事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiiki/pdf5/1321407101251.pdf
平成19年度 地域再生マネージャー事業	http://www.furusato-zaidan.or.jp/chiiki/pdf5/1213146357115.pdf

6. 写真・ひとことPR

	<p>＜ひとことPR＞</p> <p>地域にある自然の風景や歴史的な建物、食やお祭りなど「その地域ならでは」の特徴を活かした地域づくりを進めることができ、交流人口の増加にも繋がてくると思います。こうした「観光まちづくり」に向けた的確な計画・戦略づくり、及びそれに基づく地域の関係者が主体となった持続的な活動の推進・マネジメントに、地域の方々と一緒に取り組んでいきたいと考えています。</p>
---	---